

ベートーヴェン：

Ludwig van Beethoven:

交響曲 第4番 変ロ長調 op.60 (約35分)

Symphony No.4 in B flat major, op.60

【第1楽章】 **アダージョ - アレグロ・ヴィヴァーチェ**

Adagio - Allegro vivace

【第2楽章】 **アダージョ**

Adagio

【第3楽章】 **アレグロ・モルト・エ・ヴィヴァーチェ**

Allegro molto e vivace

【第4楽章】 **アレグロ・マ・ノン・トロppo**

Allegro ma non troppo

— 休憩 (20分) — (Intermission)

交響曲 第7番 イ長調 op.92 (約40分)

Symphony No.7 in A major, op.92

【第1楽章】 **ポコ・ソステヌート - ヴィヴァーチェ**

Poco sostenuto - Vivace

【第2楽章】 **アレグレット**

Allegretto

【第3楽章】 **スケルツォ：プレスト**

Scherzo : Presto

【第4楽章】 **フィナーレ：アレグロ・コン・ブリオ**

Finale : Allegro con brio

【指揮・芸術監督】 **佐渡 裕** Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director【管弦楽】 **兵庫芸術文化センター管弦楽団** Hyogo Performing Arts Center Orchestra

*演奏時間は目安です。前後する可能性がありますので、予めご了承ください。

※この公演の録音・録画・撮影および、そのための機材の会場内への持ち込みは固く禁じられています。
※音や警報音の鳴る機器（補聴器、アラーム付時計等）をお持ちの方は、上演中音が鳴らないようご注意ください。
※客席内では携帯電話は使用できませんので、電源をお切りください。
※演奏中の会話、客席内での飲食はご遠慮ください。

小味渕 彦之
(音楽学、音楽評論)**ベートーヴェン：交響曲 第4番 変ロ長調 op.60**

Ludwig van Beethoven: Symphony No.4 in B flat major, op.60

選り抜かれた音が組み合わせられた緊密な構造の中から、極めて美しく、躍動感に満ちた音楽が生まれます。ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)の交響曲9曲の中で演奏機会は少ない方ですが、実は完成度の高い傑作です。

1806年(36歳)の作曲。クラリネットを中心とする木管楽器が多用され、めくるめく音色の変化が新機軸として取り入れられました。同じ年に書かれた《ヴァイオリン協奏曲》とも共通点が多い作品です。1807年3月にロプコヴィッツ侯爵邸で試演が行われ、同年11月15日にブルク劇場で行われた慈善演奏会で公開初演されました。

4つの楽章で構成されます。〈第1楽章〉は丹念に形作られた序奏が、弾け出す主部へと連なります。〈第2楽章〉は冒頭のリズムが全体の土台になって、美しいメロディが奏でられます。〈第3楽章〉はボタンの掛け違いのようにシンコペーションのリズムが弾むスケルツォ楽章。〈第4楽章〉は畳みかけるようなダイナミックなリズムの中に、ユーモアも感じる小粋なフィナーレになりました。

楽器編成

フルート、オーボエ2、クラリネット2、バスーン2、
ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部**ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 op.92**

Ludwig van Beethoven: Symphony No.7 in A major, op.92

「大胆なリズム」と「歌心に満ちた旋律」の2点に、音楽的な特徴を集約できます。晩年の独自様式に至る以前に確立された到達点とも位置付けるべき作品。

1811年から翌1812年(42歳)にかけて作曲されました。リズムとメロディを両極から融合させるやり方が確立されています。激しい音楽的エネルギーを積み上げるのではなく、外側に向けて照射される力によって、より開放的な響きが形成されます。1813年4月20日にルドルフ大公邸で試演が行われ、同じ年の12月8日にウィーン大学の講堂で行われた演奏会で公開初演されました。

4つの楽章で構成されます。〈第1楽章〉は堂々とした序奏が、軽やかさを兼ね備えたダイナミックな主部に連なります。〈第2楽章〉には悲劇性よりも高貴な気高さが支配的な、葬送行進曲風の歩みが連なりました。〈第3楽章〉はリズムの対比が鮮やかなスケルツォ楽章。〈第4楽章〉では叩きつけるようなリズムが執拗に繰り返され、圧倒的な高揚感が生まれます。

楽器編成

フルート2、オーボエ2、クラリネット2、バスーン2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部

PAC オーケストラの演奏をご自宅でも！

- Meet-HPAC リサイタルホールから
- わくわくOnlineオーケストラ教室

妖精パックのオーケストラってなあ〜に？

PAC公式YouTubeにて好評配信中！ (視聴無料)



新型コロナウイルス感染防止に関するお願いとお知らせ

- 必ず指定されたお席でご鑑賞ください。
- ご鑑賞中も、常にマスクをご着用ください。(マウスシールド不可)
- ブラボーなどの声援や、大きな声での会話はお控えください。
- 途中で退出されますと、ご自身のお席へお戻りいただけない場合があります。
- 終演時は、分散してのご退場にご協力ください。
- 客席内は、強制換気システムにより常に外気との入れ替えを行っております。

当センターウェブサイトより、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記QRコードを読み取って公演カレンダーへアクセスしてください。
(公演翌日から2021年5月11日まで)



「兵庫県コロナ追跡システム」をぜひご利用ください。館内掲示のポスターよりQRコードを読み取ってご登録ください。